

業務概要	業務詳細
【確認事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・出務時間は、AMセッション 6:30~13:00 PMセッション 14:30~21:00 ・用具器具の運搬・設置・撤去は、基本的にセッション開始前、終了後に行う。 ・ユニバーの残分計は、使用しない。 ・砂場シートはサイドのダッグアウトに置く。 ・投てき用囲い（Aゾーンのみ）は設置したままにする。（芝からもはずさない、支柱の長さもそのまま） ・ラインテープの区画線のかすがいは大会中設置したままでよい。（最大の距離で） ・メイン・サブ競技場は芝刈り無し。サブは角度ラインのみでグリーンシステムがペイントしてくれる ・投てき物は、用器具係（投てき班）が競技場所へ運搬し、競技終了後に投てき審判が器具庫Aに返却する。 また競技場の投てき物と、持ち込みの投てき物の個数が分かるリストを付けて出す。 ・Bゾーンバックスタンド側サークルの座位種目用固定装置は設置したままにする。 ・位置出しのマーキングは油性マジックで行う。（場合によっては養生テープを貼る） ・ガムテープをウレタンに貼る場合は養生テープの上に貼る。 ・PMセッションで持ち込み投てき物の検査を手の空いている人で行う。 ・フィールド種目の各競技エリア内にゴミ箱が設置される。
【大会前準備】 (5/13~5/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・競技場の用具の商標（主にN I S H I）をかくす ・スタートライン延長・テイクオーバーゾーン延長位置出し（油性マジック） ・ユニバーサルリレー4走テイクオーバーゾーン延長位置出し（油性マジック） ・スタートから50m位置出し（養生テープ） ・踏切エリア内パウダーゾーン位置出し（油性マジック）砂場から1mの地点から長さ1.00m×幅1.22m ・砂場の幅の拡張位置出し（油性マジックと養生テープ） ・投てき距離標識を作成する。（表示のない距離のみ） ・公式投てき物リストにある投てき物を検査する。
【トラック】	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害（T11・T12）の200m・400m、およびユニバーサルリレーはそれぞれの競技者に2レーンを割り当てるため、スタートライン、テイクオーバーゾーンの延長を行う。 ・800m以上の車いす競走（T34.T53.T54 800m、T52.T54 1500m、T54 5000m）は、スタート後競技者の衝突が起きた場合にスターターが呼び戻しを行うか判断するために、スタートから50mの位置付近の広告ボード裏側の見えない場所にコーンを運搬し、セッション終了後回収する。 ⇒設置・撤去はスターター ・車いす800m競走は、危険回避のためにブレイクラインに角柱は置かず、角柱の代わりとして、テープ（黄色5cm×5cm）を貼る。 ・また、広告ボードの裏側に見えない場所に オープン旗2本を運搬し、セッション終了後回収をする。⇒設置・撤去は監察 ・5000m以上の種目で給水を設置する場合は、内側3レーンを空け給水テーブルを設置する。また、視覚障害（T11・T12）は、ガイドランナーのために縁石内側にも給水テーブルを設置する。テーブルは片側に2つ（両側で合計4つ）置き、紙コップに2ℓペットボトルから水をそそぐ。
【跳躍】	<ul style="list-style-type: none"> ○走幅跳（T11,12）（5/17 PM、5/19 AM、5/20 AM、5/24 PM） ・踏切エリア内パウダーゾーンの設置（砂場から1mの地点から長さ1.00m×幅1.22m） ・砂場の幅の拡張ラインテープ設置（助走路の中線から1.75mずつ3.5m） ・パウダーゾーンの清掃 ・助走マークはラバー製を出す。 ○走高跳 ・判定補助線の設置（支柱台から3m外側へ） ・マットの運搬・設置 ○その他 ・走幅跳到ユニバーの呼び出し用スピーカーは使用しない。

【投てき】	<ul style="list-style-type: none"> ・座位投てき（F32～34、F51～57の砲丸投・円盤投・やり投・こん棒投）はサークルで行われ、投てき角度は34.92度で行う。 ・こん棒投、円盤投は囲いを設置する。⇒セッション中、セッション間のネットの上げ下げは投てき審判が行う。 ・座位種目用固定装置の設置・撤去（Aゾーンバックスタンド側サークルのみ行う）
【検査】	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち込み投てき物は器具庫Aの詰め所で施錠をして管理する。 ・TICから検査室への持ち込み投てき物の運搬は、TICが行い、返却は用器具係で行う。 ・TICから持ち込み投てき物が随時運搬されるので、必ず受け取れる者が待機する。 ・持ち込み投てき物は1人2個までの新ルールを適用する。
【ラインテープ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインテープは、予め競技種目に合った長さのものを用意しておく。（作成済み） ・距離表示ラインは、2本を設置する。世界記録、大会記録などは表示しない。 ・区画線は、目印に併せてロープをはり、概ね5m間隔でかすがいを設置する。左右の長さを同じにする（長さが同じとは、ラインテープの長さではなく、投てき距離を指す） ・距離表示ラインのかすがいは必要な物のみ設置する。それ以外はその都度撤去する。 ・距離表示ラインは、大股3歩でかすがいを設置する。（砲丸投げは、2歩） ・ラインテープは1日ごとに撤収する。
【セッション中】	<ul style="list-style-type: none"> ・SISスターティングブロックの移動 ・PMセッションで持ち込み投てき物の検査 ・給水
【確認中】	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始の150分前に準備を開始し、90分前までに設営を完了する。TDやITOのチェックは何分前に行うのか？ ・テレビケーブル等の養生をする。 ・走高跳マット保管場所→Aゾーンの中、Aゲート坂道など ・テント・ベンチ（選手用）準備（個数） ・いつ設置・いつ撤収？ <p>○200m、400mスタート延長 ⇒前の競技終了後二人一組でそれぞれ1～2・3～4と5～6・7～8を引く。</p> <p>○ブレイクラインに貼るテープ（黄色5cm×5cm）</p> <p>○ユニバーサルリレー関連</p> <ul style="list-style-type: none"> スタートライン延長 4走テイクオーバーゾーン延長 1→2 4走テイクオーバーゾーン延長 2→3 4走テイクオーバーゾーン延長 3→4 4走二人一組で行う。ゾーン用のカギの部分は事前に切っておく <p>〈態勢〉</p> <p>ITOs :</p> <p>NTOs :</p> <p>volunteer :</p> <p>〈工程引継ぎ・連絡先〉</p> <p>出発 :</p> <p>スターター :</p> <p>跳躍 :</p> <p>投てき :</p> <p>監察 :</p>

業務概要	業務詳細
<p>(1) 補助競技場 トラック種目、跳躍種目、砲丸投（立位のみ）、やり投（立位及び座位）</p>	<p>次の3会場における練習場・ウォームアップ場において、競技者及び関係者に対して、安心・安全で円滑な練習・競技準備環境の提供を行う。</p> <p>(1) 補助競技場 (Warm-up area) ユニバー記念陸上競技場 (Main Stadium) に隣接することから、練習会場及びウォーミングアップ会場として使用する。 球技場、しあわせの村の練習会場と緊密な連絡体制を確保する。</p> <p>① 開設期間及び時間 ① 公式練習期間 2024年5月13日(月)～16日(木)、9:00～19:00 ② 競技実施期間 2024年5月17日(金)～25日(土)、7:00～21:00</p> <p>② 使用種目及び方法 ① 公式練習期間中 ・トラックは、車いす（及びフレームランニング）専用、立位不可 フレームランニングの使用は、時間帯を区分し、ホームストレートの4～7レーンに指定 ・ホームストレート（道路側）の8レーンは、徒歩による往復のみの使用 ・フィールド（跳躍種目）は、走幅跳（1ピットにT11/12踏切エリアを作成）、走高跳 走高跳は16:00～19:00の時間帯のみ ※この時間帯は、道路側のやり投（座位）ピットが使用不可 ・フィールド（投てき種目）は 砲丸投（立位のみ）＝土ピット やり投（立位及び座位）＝芝生</p>  <p>② 競技実施期間中 ・当日実施の種目に出場する競技者のみ入場可（入場管理を実施） 入口に各セッションの日程表（英語）を掲出 ※ただし、昼間（13:00～15:00）は、立位のトラック種目を除いて他の競技者も入場可 ・トラック（周回走路）は、1～3レーンを車いす、4～6レーンを立位が使用 ・ホームストレート（道路側）は、1～3レーンを車いす、4～7レーンを立位が使用 ・ホームストレート（通路側）の8レーンは、徒歩による往復のみの使用 ・ただし、1日目の午前中のみ、フレームランニングがホームストレート4～7レーンを使用 ・フィールド（跳躍種目）は、走幅跳（1ピットにT11/12踏切エリアを作成）、走高跳 走高跳は16:00～20:00の時間帯のみ ※（この時間帯は道路側のやり投（座位）ピットが使用不可） 走高跳の競技は、5日目の午後（セッション10）で終了、マットを撤去し、やり投（座位）に開放 ・フィールド（投てき種目）は、砲丸投（立位のみ）＝土ピット、やり投（立位及び座位）＝芝生</p>



③ 開設の準備

当日朝に、練習エリアと諸施設の準備状況と安全の確認を行う。

- ・ トラック、跳躍走路・砂場、投てきサークル・助走路・投てき台用プラットホームなどトラックに小石や小枝などがあつた場合、車いすがパンクすることがあるので特に注意
- ・ ドリンク、軽食等の確認（開設時間中に適宜補充）
- ・ 更衣室及びトイレに不審物がないか、トイレトペーパー等を確認（適宜補充）
- ・ アイスバス（2基）とアイスボックスの氷の確認

④ 器具の貸出等

競技者やチームの要望に応じて、練習用の器具・用具の貸し出しを行う。

- ・ 投てき器具は紛失防止のため、必ず貸出簿に記載し、A Dカードと交換で貸し出す。
- ・ 投てき台の固定については、チームでの対応とする。
- ・ 要望に応じて、アイスバスを組み立てて、氷を投入する。
- ・ 必要に応じて、リペアサービスの案内を行う。

⑤ 事故の防止

交代で練習状況の監視を行い、事故防止に努める。

- ・ トラックのレーンの使い方を入口等に掲示するとともに、コーンで明示する。
- ・ レーンの横断場所を指定し、車いすや投てき練習の出入りなどでの横断に注意する。
- ・ 投てき種目については、落下エリアに人がいる状態で投てきを行わないよう注意する。
- ・ いずれも、危険な場合はホイッスルなどで警告する。

⑥ 他の部門との連携

- ・ 競技者係と連携し、招集種目の案内アナウンス、リペアサービスへの連絡を行う。
- ・ 組織委員会のストレージ担当者と連携し、レーサーの所在確認を行うことがある。
- ・ 不測の事態が起きた場合は、緊急車両が通れるよう競技者係と連携しイレクターフェンスを外すなどして動線確保を行う。

⑦ 業務の終了

- ・ 開設終了時に、チームテントを含めて、忘れ物を確認するとともに、ゴミを回収する。

(2) 球技場
投てき種目（補助競技場で行うものを除く。）

(2) 球技場 (Throwing Training Venue)

投てき種目（補助競技場で行うものを除く。）の練習会場として使用する。

① 開設期間及び時間

- ① 公式練習期間 2024年5月13日(月)～16日(木)、9:00～19:00
- ② 競技実施期間 2024年5月17日(金)～25日(土)、7:00～20:00

② 使用種目及び方法

砲丸投（座位のみ）、円盤投（立位及び座位）、こん棒投（座位のみの種目）

③ 開設の準備

当日朝に、練習エリアと諸施設の準備状況と安全の確認を行う。

- ・ 投てきサークル・囲い・投てき台用プラットフォームなど
- ・ 休憩場所等に不審物がないかの確認
- ・ アイスバス（2基）とアイスボックスの氷の確認

④ 器具の貸出等

競技者やチームの要望に応じて、練習用の器具・用具の貸し出しを行う。

- ・ 投てき器具は紛失防止のため、必ず貸出簿に記載し、A Dカードと交換で貸し出す。
- ・ 投てき台の固定については、チームでの対応とする。
- ・ 要望に応じて、アイスバスを組み立てて、氷を投入する。

⑤ 事故の防止

交代で練習状況の監視を行い、事故防止に努める。

- ・ 投てき種目については、落下エリアに人がいる状態で投てきを行わないよう注意する。
- ・ 危険な場合はホイッスルなどで警告する。
- ・ 不足の事態が起きた場合は、組織委員会担当者と連携して対応する。

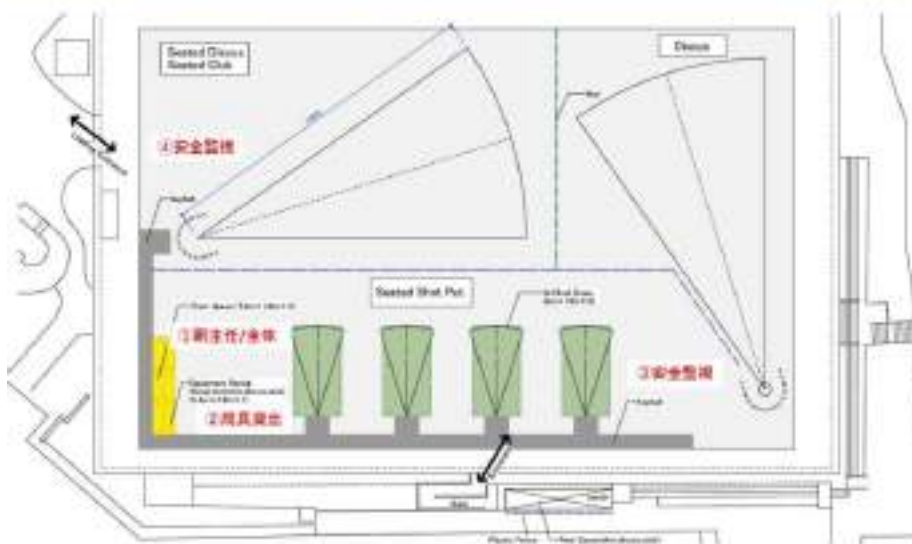
⑥ 他の部門との連携

- ・ 組織委員会のストレージ担当者と連携し、レーサーの所在確認を行うことがある。
- ・ 組織委員会の競技者輸送担当者と連携し、競技者輸送の案内をすることがある。

⑦ 業務の終了

- ・ 開設終了時に、忘れ物を確認するとともに、ゴミを回収する。
- ・ 補助競技場の主任に、業務終了の連絡を行う。

練習会場係役員配置図 ② 球技場 Throwing Training Venue



投てき種目の練習会場として活用。使用種目は、砲丸投（座位のみ）、円盤投（立位及び座位）、こん棒投（座位のみの種目）

(3) しあわせの村
トラック種目（立位のみ）
及び跳躍種目（走幅跳のみ）

(3) しあわせの村 (Shiawase-no-Mura)

トラック種目（立位のみ）及び跳躍種目（走幅跳のみ）の練習会場として使用する。

① 開設期間及び時間

- ① 公式練習期間 2024年5月13日(月)～16日(木)、9:00～18:00
- ② 競技実施期間 2024年5月17日(金)～25日(土)、9:00～19:00

② 使用種目及び方法

トラック種目（立位のみ）及び走幅跳

- ・ 走幅跳は、10:00～11:30と14:00～15:30の時間帯はT11/12専用とし、踏切エリアを作成する。
- ・ T11/12走幅跳の練習時間帯は、トラックホームストレート6レーンの練習を規制する。

③ 開設の準備

当日朝に、練習エリアと諸施設の準備状況と安全の確認を行う。

- ・ トラック、跳躍走路・砂場など
- ・ 更衣室及びトイレに不審物がないか、トイレトペーパー等を確認（適宜補充）

④ 器具の貸出

競技者やチームの要望に応じて、練習用の器具・用具の貸し出しを行う。

⑤ 事故の防止

交代で練習状況の監視を行い、事故防止に努める。

- ・ T11/12の走幅跳練習時は、他の競技者との接触に注意する。
- ・ 不足の事態が起きた場合、組織委員会の担当者と連携して対応する。

- ・ 不足の事態が起きた場合は、組織委員会担当者と連携して対応する。

⑥ 業務の終了

- ・ 開設終了時に、グリーンアリーナ体育館を含めて、忘れ物を確認するとともに、ゴミを回収する。
- ・ 補助競技場の主任に、業務終了の連絡を行う。

練習会場係役員配置図 ③ しあわせの村 Shiawase-no-Mura



トラック種目（立位のみ）及び跳躍種目（走幅跳のみ）の練習会場として使用
走幅跳は、10:00～11:30と14:00～15:30の時間帯はT11/12専用とし、トラックホームストレート6レーンの練習を規制

〈態勢〉

ITOs :

NTOs :

volunteer :

〈工程引継ぎ・連絡先〉